

整備事業
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(青森県 令和2年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成28年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率				計画時(平成28年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
				黒石市	津軽みらい農業協同組合	土地利用型作物(稲)	再編後の施設利用率の向上及び施設の運営コストの低減	60.6%	75%				87.7%	再編後の穀類乾燥調製貯蔵施設等の利用率	75.4%	再編後の穀類乾燥調製施設等(稲)	再編後の穀類乾燥調製貯蔵施設等における下位等級の比率の削減	2.8%				17.8%	11.4%	下位等級比率4.3%	-61.4%				
都道府県平均達成率	47.8%	総合所見	評価対象となった1地区において、運営コストの削減については目標を達成しているが、施設利用率及び等級比率の向上については目標を達成できなかった。要因として、近年高温により胴割粒やカメムシ被害の発生率が高くなっていること、荷受時間の混雑を避けるため、色彩選別機のない個人乾燥調製・精米所への持ち込みが減らず、施設利用率及び等級比率が向上しないことから、荷受時間の改善や色彩選別機のある当該施設の利点等を生産者に周知することで利用を促進するとともに、引き続き、胴割粒発生率の低い品種への移行促進、栽培管理や適期刈取の指導徹底を支援することで、実施地区全体の下位等級比率の低下を図る。																										

(注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。
2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合には、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。